

静岡市役所

20040821

問題解決にあたっては、必ず文章化することにこだわりを続けてきたので
すぐに図解に切り替えることは無理かもしれないが、一種のカルチャーショックだった

語句の使い方等、
どちらでもいいことに時間をとっていたように思う

つい慣れている文章化に走ってしまいそうな気がするが
そんな時にはメルマガで刺激を受けたい

自分の仕事を図にすることで短い時間に日々の仕事について
真剣に考えることができた
図解にこんなに頭を使うとは思わなかった

「考える」ということを難しく考えていたが、
「理解・疑問・批判」に分類することをスタートとしたら、
頭の整理ができそうな気がして安心した

図解は人とのコミュニケーションを図る上でも有効な手段なのだと感じた

身近な事の題材を「キーワード、
、矢印」の三つから
図解することをはじめたい

実際に自分の仕事について図で描いてみたことで、
今の仕事の関係がよく見えてきた気がする

印象に残った言葉「仕事は、間口は一緒でも、人より奥行きが違う」ということ

今後も仕事にも活用していきたい

定性評価(評判)の中の重要度の付け方、
また、定性評価を定量化する必要がないのか

物事の思考方法がいかに公務員的だったか判った
もう遅いかもしれないが、反省している

これからは「静岡」の個性を
大切にしていかななくてはいけないと思った

先生の幅広い世界にびっくりしている 少しはあやかりたい

とても楽しい研修だった もっと一緒に実習したかった

ひとまわり大きく明るく(人間も、視野も)なった気がする

大学のゼミの内容にもびっくりした

静岡市役所

20040821

近年話題となっている図解は
とても興味があった

勉強することと考えるということは違うのだということがわかり、目からウロコが落ちた

市役所に入庁して三年目のこの時期に今日の話を知ることができてとてもよかった

先生の考える図解ははとて幅広く、
ひとつの手段としてとらえていた感のある私としては、
広い範囲で利用していきたいと考えている

職員の政策型成功力のアップのため今後とも力をお借りしたい

中学生のころ授業の予習で
歴史の内容を図でまとめることを何度かしたことを思い出した
確かにそのおかげでその後の社会の授業が好きになった

中学生が企画調整課の仕事について調べたいと来課した際、
突然の来課のため市のHPなどの資料を使って説明した
行政方言を多く使用している課なので、
なるべく使わずに説明したが、かえっておぼんやりしてしまい、
わかってくれたかな、と思った
そして、逆に自分が理解不十分なまま
毎日を過ごしているのかとも反省した

仕事で計画の策定をすすめている 計画の理念や目標は
それぞれが単独のものではなく互いに関係があり影響しあうため、
通常の記事や箇条書き、ツリー図などでは上手く整理できず、
悩んでいたところだ 月曜日に早速取り掛かってみようかと思う

図解は自分の仕事 市の仕事 社会全体へつなぐ、いい道具だと思う
しかし、なかなか社会全体への関係性がわからないものだ
今後は空白地帯を埋めるべく、学習を続けていきたいと思う

アカウンタビリティ、PFI、NPO等の言葉で
ごまかしの文章を書くことに
なれてきている自分を恥ずかしく思う
情報のまねは別物だということがわかった

楽しい遠近両用めがねだった
実際に遠近両用めがねをかけているが、頭の中を実際に訓練したい

「志学」の年齢でこのセミナーに参加でき、
今後の人生にとて役立つと思う

「図にできることは理解していること」を改めて痛感できた

静岡市役所

20040821

図解コミュニケーションがいろいろな場面で有用であることや、
図解思考法はまさに物事の本質をとらえる方法であることがよくわかった

先生はやはりスーパー先生だった
しかし、意外にも親近感が持てるのはやはり人間性、
ヒューマンな部分に共感できるところがあるからだろう

先生個人の地域貢献だけでなく、今はやりの産学官を最先端で
取り入れているということで参考になった

これまで市役所の仕事をしてきた中で
「うまい文章を書いた人 = 仕事ができる人」
という評判がされる場面が多かったのも、
それを真っ向から否定する内容で新鮮だった

図化するとき、重要なのは、範囲である

「現代のスーパーマン」が私共のような研究グループに
来ていただけたことを心より感謝している

図解トレーニングは疲れたが、大変有効だった

図解は日々の訓練が大切だと感じた、また、先生の「ポジティブに
考えることが自分の今後のありかたにも希望がもてる」という言葉に
勇気づけられた

ちょうど月曜日に起案する案件があるので早速さしかえて
図解の効果を確認してみたいと思う

定性分析の話、関心があったので、
とても興味深く聞いた

「文章を書くのは、最後でよい 答えが出ていないのに文章を書くな」
これを意識しながらこれからの仕事に取り組んでいこうと思う

「48歳で立つ」を聞いて、元気が出た
あと48歳まで3年あるので、
自分の今の仕事足元を固めてやっていきたい

図で表そうとすることでこんなに真剣に考えることができるということを知ることができただけでも参加してよかった

印象に残ったこと、「遠近両用の視点」

能力というよりは、経験で図で書けることができるということなので、
これから常に図で考える習慣をつけたいと思う

苦情処理にはだいぶ慣れてきたつもりだったが、
その中に未来があるとまでは思えなかった